佐賀大学「地方創生インターンシップ」を受け入れ

西日本総合コンサルタント株式会社

１．受け入れ目的

現場測量実習など職業体験を通じて建設コンサルタント業への理解を深めるため、佐賀大学からインターンシップ生を３名受け入れました。

この事業は、佐賀大学「地方創生インターンシップ」に基づき、佐賀大学理工学部と当社（西日本総合コンサルタント㈱）がインターシップ実施に関する覚書を締結し、実施されました。

なお、実施にあたり、新型コロナウイルス感染防止の対策のため、大学が策定した「新型コロナウイルス感染防止対策チェックリスト(体温測定・体調・味覚・接触者など)を毎日提出して、会社担当者から確認印を得て実習を行いました。

２．概要

①学　生　　佐賀大学理工学部　３年生
　　久保田貴久さん、山﨑耀大さん、内山拓海さん　計３名
②期　間　　令和２年９月７日（月）～９月１８日（金）　２週間
③場　所　　西日本総合コンサルタント㈱　本社
③責任者　　内野政則　常務取締役

３．実施内容

今回は、令和２年７月豪雨により起きた国道３８５号線災害や熊本鹿北町菊池川の河川災害の現場実習をはじめとするインターンシップを行いました。他にも、スウェーデン式サウンディング土質調査実習、地質柱状図作成演習、橋梁点検現地調査やコンクリート健全度調査実技等を実施しました。また、代表取締役や専務取締役、設計専門技術者からはコンクリート構造物の補修工法選定や望まれる建設コンサルタントのあり方、道路計画や河川計画等の設計方針、手順の体験談、意見交換など、建設コンサルタントの業務全般について学習を受けられました。現場での実習や講話での学習など、大学の講義では習得できない貴重な経験をされました。

↑ＧＮＳＳ測量実習（熊本県鹿北町）

↓スウェーデン式サウンディング土質調査（切通川）

技術講話：黒部秀則部長・栗山昌幸部長
（道路設計・河川設計）

技術講話：山口鶴美部長
（建設コンサルタント業務）

技術講話：内野政則常務
（企業の社会貢献）

講話の様子

技術講話：福島裕充社長
（橋梁補修）

技術講話：大串正専務
（技術者倫理）

（久保田橋側道橋）

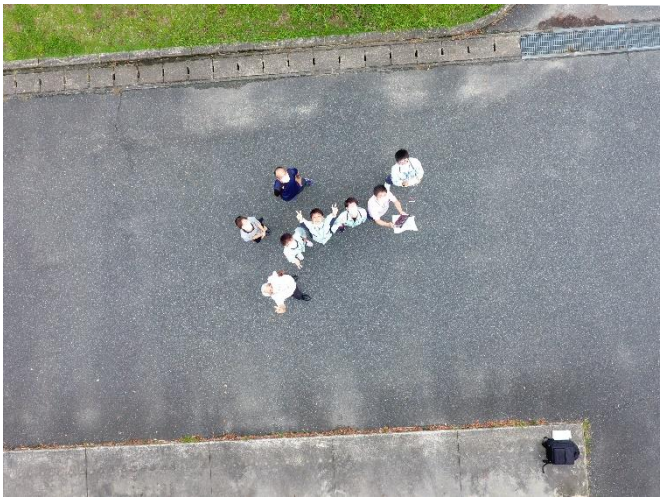
橋梁点検　　（住之江橋）

流量観測（武雄川）

コア観察

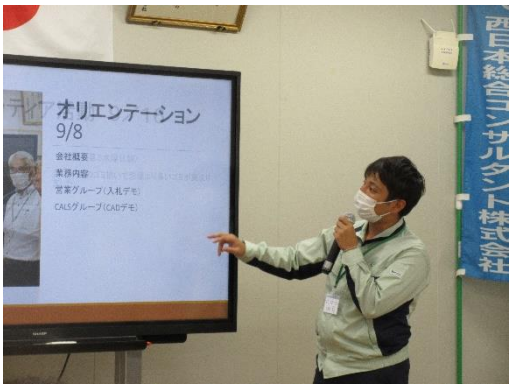
ドローン飛行

河川流域現地確認（多久市）



現場実習の様子

←ドローン飛行にて



久保田貴久さん

山﨑耀大さん

内山拓海さん

成果発表プレゼンテーション

意見交換会

意見交換会の様子

最終日の午前中には、毎日記入した業務日報や実習写真に基づき、インターンシップ成果発表プレゼンテーションの資料作成準備を行いました。午後から各々が約２５分程度成果発表をし、福島裕充代表取締役や技術総括の大串正専務取締役をはじめ若手社員らも交え、約２５名が参加しました。その後、インターンシップ生と会社幹部による活発な意見交換が約１時間行われました。

最後に内野政則常務取締役から「当社は、地域コンサルタントとして社会資本整備のスピーディーな対応、専門技術スキルを高めるための技術資格取得の積極的な取り組み、また社員の働き方改革にそったワークライフバランス（仕事と家庭の両立支援）を推進している。今回のインターンシップにおける業務・職業体験等を通じて、進路選択のきっかけとしていただきたい。これからコンサルタント業を含め様々な経験を数多くして欲しい。」と話されました。

於：当社社長室

２週間お疲れさまでした

於：当社玄関ロビー